

## 第4学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成23年6月8日(水)13時45分～ 4年1組 教室

2. 議題名

「雨の日にクラスのみinnで楽しむことを決めよう」

3. 議題について

本学級は、男子14名、女子15名、計29名のクラスである。体を動かすことが大好きな子が多く、休み時間にはほとんどが校庭で外遊びをしている。男女仲もよく、週に1回クラス全員で遊ぶ日があり、遊び係が遊びを決めて遊んでいる。遊び係以外にも、休み時間に本係が読み聞かせをしたり、マジック係がマジックを見せたりするなど係活動にも積極的に取り組んでいる。

学級活動の話合い活動では、学級目標や係、運動会のスローガンなどを決めてきた。これらの話合い活動によって、徐々に学級への所属感や集団としての意識が芽生えてきたところである。話合い活動では、5人の司会グループを名前順の輪番制にしている。4月当初は、担任や代表委員会から出された議題で話し合っていたが、5月の中旬頃から、自分たちの出した議題で話合い活動を進めている。低学年から数多くの話合い活動を積み重ねてきているが、発言する児童が限られていた。そこで、学級会ノートを作成し事前に自分の意見を書いて学級会に臨むようにさせた。そのことにより、自分の意見に自信を持って発言できる子が増えてきている。自分たちが決めたことが実践可能かどうかを意識しながら、集団決定をしていけたらと考えている。

今回は「次の雨の日に、クラスのみinnで楽しむことを決めよう！」を議題に設定した。5月初旬に議題箱を置いたところ、「雨の日の過ごし方を考えたい。」という意見が数多く寄せられたからである。そこで、6月の梅雨の時期ということもあり、学級活動(2)(基本的な生活習慣の形成)で「雨の日の過ごし方」について話し合った。その話合いの中で、「クラスのみinnで一つのことに取り組みれば、雨の日も気持ちよく過ごせるのではないか。」という意見がたくさん出された。これらの子どもたちの思いを受け、本議題を設定した。

4. テーマとのかかわり 《中学年》～お互いの思いを大切にし、進んで行動しよう～

児童一人ひとりが自分の意見を持って学級会に臨むことで、自分の意見に自信を持ち周りに伝えることができるようになる。話合いの中では、友だちの意見を自分の意見と照らし合わせながら聞くだけでなく、お互いの思いを大切に育てていきたい。そこから、新たな考えや周りを納得させられる意見が生まれてくると考える。また、子どもたちが話し合いで決定することだけに満足するのではなく、決まったことを実践に移していくところまで見守っていきたい。実践に移すことに喜びを感じることができれば、進んで行動しようとし、また次の学級会への意欲へとつながっていくことが期待される。

5. 評価基準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団生活に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動の内容	評価( )と支援( )
6 / 1 (水) 宮小タイム	司会グループで役割を分担し、話し合いのめあてや計画を立てる。 ・司会1                      ・副司会1 ・黒板書記2    ・ノート書記1	話し合いに向けて進んで準備をしている。(集団活動や生活への関心・意欲・態度) お互いの役割を確かめ合い、活動のイメージが持てるようにする。
6 / 3 (金) 朝の会	みんなに学級会で話し合う議題と提案者の思いを伝える。	みんなに話し合う内容や提案者の思いを伝え、思いを共有するようにする。
6 / 6 (月) 朝の会	「学級会ノート」に、めあてと自分の考えを書く。	一人ひとりが自分の考えを持てるようにする。 話し合いのめあてと自分の意見を考えている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
6 / 8 (水) 中休み	司会グループで話し合いの流れを話し合う。	教師とともに話し合いの進め方を考えている。(集団の一員としての思考・判断・実践) 流れを確かめられるように、話し合いの場面を一緒にイメージしていく。

(2) 本時の活動

ねらい

話し合いに積極的に参加し、雨の日にクラスみんなで楽しむことを決める。

本時の視点

「安全でみんなが楽しめるもの」ということを意識しながら話し合いを進められるか。

活動内容

児童の活動	評価（ ）と支援（ ）
<p>1. はじめの言葉（司会）</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認（司会）</p> <p>4. 提案理由の説明（提案者）</p> <p>5. めあての確認（司会）</p> <p>6. 話し合い</p> <p><b>議題</b></p> <p>「雨の日にクラスみんなで楽しむことを決めよう」（板書は予想）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: right; font-size: small;">雨の日にみんなで楽しむことを決めよう</p> <p>《柱1》（何をどのようにするか）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハンカチおとし</li> <li>・ ジェスチャーゲーム</li> <li>・ ばくだんゲーム</li> <li>・ トランプ</li> </ul> <p style="text-align: left; font-size: small;">係活動</p> <p>《柱2》（役割分担）</p> </div> <p>7. 決まったことの確認（ノート書記）</p> <p>8. ふりかえり</p> <p>9. 先生の話</p> <p>10. おわりの言葉（司会）</p>	<p>司会グループとして、自分の役割を果たしている。（集団活動や生活への関心・意欲・態度）</p> <p>安心して会が進められるように、進行プログラムを司会に渡しておく。</p> <p>話し合いのめあてを意識しながら話し合ったり決定したりできるようにする。</p> <p>司会が話し合いの進め方などでつまづいた時には、助言する。</p> <p>友だちの意見を認めたり、うなずいて聞いたりしている。（集団の一員としての思考・判断・実践）</p> <p>話し合っている内容が逸れてきたら、めあてを意識して話し合ったり決定できるように助言する。</p> <p>今日の話合いのよかったところを考えられるようにする。</p> <p>みんなで楽しむ方法を決めることの大切さについて理解している。（集団活動や生活についての知識・理解）</p> <p>話し合いのめあて、学級目標などを意識した意見、みんなが納得できるようなよりよい意見や態度、司会グループの頑張りなどを賞賛する。</p>

（3）事後の活動

活動の場	活動内容	評価（ ）と支援（ ）
6 / 9（木）朝の会	学級会で決まった活動の準備をする。	<p>みんなで話し合ったことが活動に生かされるように助言する。</p> <p>活動に向けて進んで準備をしている。</p> <p>（集団活動や生活への関心・意欲・態度）</p>
雨の日の休み時間	学級会で決まった活動をする。（遊び、係活動など）	<p>めあてを提示し、意識できるようにする。</p> <p>学級の一員としての自己の役割を自覚し、実践している。（集団の一員としての思考・判断・実践）</p>